



とくしま“あい”ランドNEWS

(公財)とくしま“あい”ランド推進協議会では、ぬくもりと活力ある長寿社会を目指して、生きがいづくり・健康づくり・社会活動に取り組む指導者育成などのさまざまな事業を実施し、高齢者の方々に応援しています。

第24回理事会 令和5年度事業計画決まる



理事会風景

3月13日、(公財)とくしま“あい”ランド推進協議会では、手塚俊明副理事長、野々瀬由佳常務理事ら10人の理事と監事1人が出席し、JRホテルクレメント徳島(徳島市東出来島町)で第24回理事会を開催しました。

理事の職務の執行状況について報告を行った後、令和4年度補正予算(案)、令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)、評議員会の招集決定及び提出議案、諸規程の改正(案)を審議。各議案とも原案どおり可決しました。

この日決まった令和5年度事業計画の概要は次のとおり。

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会では、高齢者が自らの長寿を喜び、健康で生きがいをもって生活できるような「ぬくもりと活力のある長寿社会」の構築を目指して、次の方針に基づき、3つの公益目的

事業を実施する。

1 事業の実施方針

(1) 公益目的事業1

情報誌の発行や高齢者の生きがいと健康づくりの推進、世代間・地域間交流などを目的とするイベントの開催などを通じて、広く県民に明るい長寿社会づくりについての啓発を行う。

(2) 公益目的事業2

高齢者自身が生きがいを持つて豊かな高齢期を創造できるような、能力の再開発を支援するとともに、社会活動の振興のための指導者として活躍できる人材を育成する。

(3) 公益目的事業3

地域貢献活動の「担い手育成」と「活躍の場の創出」により、元気な高齢者が活躍する生涯現役社会を実現する。

2 事業実施計画

公益目的事業1

①長寿社会啓発事業

広く県民各層に対し、長寿社会への理解と関心を深

めていただくため、長寿社会関係の様々な情報を多様な媒体で提供することとする。

なお、フレイブル予防推進事業を長寿社会啓発事業の中で実施する。

②徳島県健康福祉祭開催事業

高齢者だけではなく、世代を超えた幅広い分野からの参加者のふれあいと交流により、互いの理解を深め、「ぬくもりと活力のある長寿社会」づくりについてともに考え、すべての県民が一体となって取り組んでいくための契機として徳島県健康福祉祭を開催する。

併せて、県南部・県西部においても「県健康福祉祭サテライト大会」を開催し、身近で親しみやすい大会運営に資するとともに、大会・地域の活性化を図る。

③全国健康福祉祭への選手等派遣事業

高齢者を中心とする国民の健康保持、社会参加・生きがいの高揚等を図るために実施される「第35回全国健康福祉祭えひめ大会」に選手等を派遣することにより、参加者の自立意識の高揚を図るとともに、本県の

ならいま専科

まんが：A2Cエーツーシー



学校大学院卒業生が地域貢献活動を推進する人材として登録する「生きがいづくり推進員」の活動支援やシルバー大学校及び同院OB会の運営支援等を行う。

「ぬくもりと活力のある長寿社会」づくりに寄与する。

公益目的事業 2

① シルバー大学校の開講事業
高齢者が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるような能力の再開発を支援するとともに、地域福祉を推進するリーダーを育成することを目的としてシルバー大学校を開講する。

② シルバー大学校大学院の開講事業
高齢者が生きがいを持って生活し、地域社会の重要な担い手として活躍できる環境づくりを図るため、専門的で高いレベルでの学習の機会を提供し、卒業後は社会貢献活動を推進する人材を育成する。

③ 生き生きシニア放送講座
開講事業
高齢化の更なる進行が予想される中、「元氣高齢者づくり」は特に重要である。そこで、「生きがいづくり」や「地域活動参加のきっかけづくり」としていただくため、シルバー大学校等に通学が困難な高齢者にも、ケーブルテレビやWebを活用した「自宅で受講できる高齢者向けの講座」を開講する。

④ 関西圏・首都圏シニアカレッジ交流会
関西広域連合内のシルバー大学校等との結びつきを活かし、平成24年度から共同講義を実施してきたが、首都圏シニアカレッジを含む、より広範囲の交流を図ることにより、高齢者が有する「知識」

「能力」の更なる向上を図る。

公益目的事業 3

① アクティブシニア地域活動支援事業
地域ニーズの幅広い情報収集と積極的な情報提供を行い、「アクティブシニアによる地域貢献活動を必要とする団体」と「スキルを持つアクティブシニア」を繋げるマッチングを行う。

また、リカレント講座を実施し、シルバー大学校大学院などでの学習成果やシルバー大学校大学院OB会での活動体験を更なるステージへと繋げるとともに、一般県民や地域貢献活動から遠ざかっているシニアなど担い手の裾野を広げる。

さらに、主にシルバー大

学校大学院卒業生が地域貢献活動を推進する人材として登録する「生きがいづくり推進員」の活動支援やシルバー大学校及び同院OB会の運営支援等を行う。

学校大学院卒業生が地域貢献活動を推進する人材として登録する「生きがいづくり推進員」の活動支援やシルバー大学校及び同院OB会の運営支援等を行う。

学校大学院卒業生が地域貢献活動を推進する人材として登録する「生きがいづくり推進員」の活動支援やシルバー大学校及び同院OB会の運営支援等を行う。

学校大学院卒業生が地域貢献活動を推進する人材として登録する「生きがいづくり推進員」の活動支援やシルバー大学校及び同院OB会の運営支援等を行う。



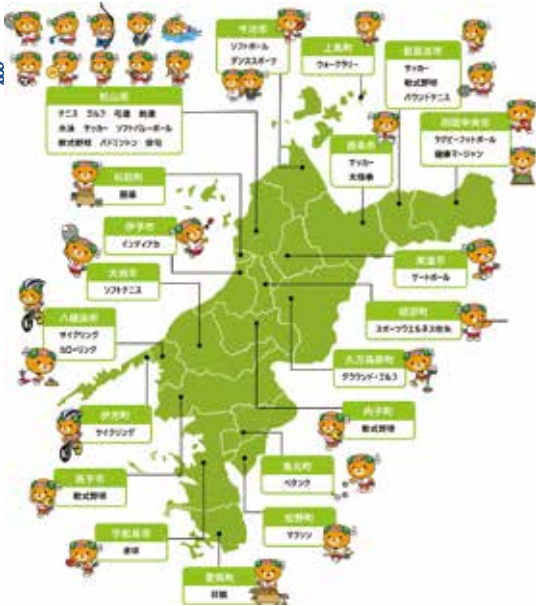
公益財団法人の運営について話し合う評議員の皆さん

第24回評議員会を開催

（公財）とくしま、あいランド推進協議会は、3月24日、県立総合福祉センター（徳島市中昭和町）で第24回評議員会を開き、令和4年度補正予算、令和5年度事業計画及び収支予算、について報告後、役員を選任について審議。原案どおり可決しました。

3年ぶりの「関西圏・首都圏シニアカレッジ交流会」

「ふるさとの原点を探る〜ひょうごのはじめを学んでみよう〜」をテーマにした「関西圏・首都圏シニアカレッジ交流会」（公財）兵庫県生きがい創造協会主催）が2月15日、3年ぶりに兵庫県で開催されました。



第35回全国健康福祉祭え
ひめ大会（ねんりんピック愛
顔のえひめ2023）が「ね

「ねんりんピック愛顔
のえひめ2023」に
選手団派遣

共同講義等を通じて交流を深めることで「府県域を越えた新たな仲間づくり」や「生きがいづくり」を図ろうというもので、徳島県からは22人が参加し、学習成果の発表を行うなどし、他府県のシニアカレッジの皆さんとの交流を深めました。令和5年度は大阪で開催される予定です。

りんを「重ねた愛顔」伊予に咲く」をテーマに、10月28日（土）～31日（火）の4日間、愛媛県内で開催されます。（公財）とくしま“あい”ランド推進協議会は同大会に選手団を派遣することにより、参加選手を4月中旬から5月31日まで募集します。

徳島県シルバー大学校

◆3年ぶりに大学祭を開催

徳島県シルバー大学校第41期生の大学祭が2月21日あわぎんホール（徳島市藍場町）で行われ、県内9校の学生ら約350人が参加しました。

大学祭の開催は3年ぶり。学生生活の成果や活動を発表して共通理解を深め、今後の学生活動などの一層の充実を図ろうと、41期生学生会の大学祭実行委員会と（公財）とくしま“あい”ランド推進協議会が主体になり式典、芸能発表会、作品展を実施しました。

午前の式典では開式に続き、（公財）とくしま“あい”ランド推進協議会感謝状贈呈式が行われました。この感

期間中の開催種目と地域は左上図のとおり。

なお、同美術展には昨年開催の第28回徳島県健康福祉祭美術展で徳島県知事賞及び県議会議長賞に選ばれた作品のうち上位入賞作品を出品する予定です。



挨拶をする
飯泉嘉門県知事

謝状は、明るい長寿社会を推進するため、徳

島県シルバー大学校や大学院で学んだ知識・技能を活かし「生きがいづくり推進員」として社会貢献活動に尽力した人、また、シルバー大学校や大学院のOB会役員としてOB会活動の発展に尽力した人などの功績をたたえるもので、理事長の飯泉嘉門徳島県知事から17人の方たち（※功労者一覧参照）に贈られました。

午後からは各校各グループの学生の皆さんによる芸能発表会が行われ、25グルー



飯泉県知事から感謝状を受け取る功労者

- プがそれぞれに趣向を凝らした演出で、英語でガイドンス、寸劇、踊り、手話ダンスなどを披露し、楽しいひとときを過ごしました。
- また、同館で学生の皆さんの作品展も開催され、絵画、写真、書、俳句・短歌、手工芸、陶芸、折り紙、絵手紙、裁景盆栽など398点が展示されました。
- ※功労者一覧（敬称略、順不同）
- 【生きがいづくり推進員活動功労者・12名】
- ★歴史文化Ⅱ上田雅士
- ★健康スポーツⅡ三木トジ子、森キヨ子
- ★ICTⅡ泉仁、安岡晴美、山本慶子、上田孝子、高橋幸生、湯浅眞澄、佐々木保弘
- ★防災Ⅱ炭谷勲、阿部隆
- 【シルバー大学校等OB（連合）会役員功労者・5名】
- ★鳴門校OB連合会Ⅱ森輝雄、小室恒二

★阿南校連合OB会 山田敏夫
 ★上板校OB連合会 安田陸紀
 ★東みよし校OB連合会 渡辺敏之

◆第41期生卒業式

最高齢は100歳！知識を身につけ390人巣立つ

徳島県シルバー大学校第41期生の卒業式が3月15日、あわぎんホール（徳島市藍場町）で行われました。

開式後、1年間の課程を修了した県内9校（徳島、鳴門、小松島、阿南、吉野川、美馬、牟岐、上板、東みよし校）の390人（女性259人、男性131人）は、徳島県知事の飯泉嘉門校長から卒業証書を受け取りました。

その後、飯泉校長は式辞で、「知識と経験、行動力を発揮し、充実した人生を過ごしてください」などと激励しました。



式辞をのべる徳島県知事・飯泉嘉門校長



飯泉校長から卒業証書を受け取る卒業生



答辞をのべる近藤陽子さん

卒業生代表の東みよし校ICTコース・近藤陽子さん（64歳）は「三好市井川町が『大学校での学びを基盤にさらに研鑽を積み地域の中で活躍したい』などと答辞を述べ、その後出席者全員で校歌を黙唱して式を終えました。

第41期卒業生の平均年齢は71.4歳。最高齢者は男性100歳、女性89歳。開校以来の卒業生は1万6千217人になりました。

◆地域貢献活動を目指し128人が卒業



式辞をのべる徳島県知事・飯泉嘉門校長

3月9日、第18期徳島県シルバー大学校大学院卒業式が徳島県立総合福祉センター（徳島市中昭和町）で行われ、1年間の課程を修了した9講座128人（男性70人、女性58人）が巣立ちました。開式後、徳島県知事・飯泉嘉門校長から各講座の代表者に卒業証書が手渡されました。

次いで飯泉校長が式辞を述べ「高い専門知識とアグレッシブな行動力を活かし、地域のリーダーとしての素晴らしい人生を祈念します」などと激励しました。

卒業生代表のおもてなし外国語講座（中国語会話）中川英男さん（81歳）は徳

徳島県シルバー大学校大学院

島市が「今年度はコロナ禍も続いたものの休講もなく学べ、卒業生一同が集うことができました。卒業後は私たちがを含め、高齢者の皆さんが生きがいをもてるような地域貢献活動をしていきたい」などと答

辞を述べ、その後出席者全員で校歌を黙唱し、それぞれの新たな巣立ちを祝いました。



答辞をのべる中川英男さん



飯泉校長から卒業証書を受け取る卒業生

